

JSAiTの研究班による CT等に関するアンケート結果

- 1)公益社団法人 日本診療放射線技師会
- 2)佐賀大学医学部附属病院
- 3)熊本大学病院
- 4)NHO 嬉野医療センター
- 5)島根大学医学部附属病院
- 6)四万十町国保大正診療所

江端清和¹⁾、尾形 学²⁾、中戸研吾³⁾、碓 直樹⁴⁾、
金山秀和⁵⁾、大川剛史⁶⁾

日本オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会(The Japanese Society of Autopsy imaging and Technology 以下:JSAiT)にある13の共同研究班のうち「小児X線CT撮影条件の適正化」、「X線CT撮影時のアーチファクト対策」、「Dual (Multi) Energy CTの活用」、「腐敗症例に対するCT、MRI撮像法の適正化」、「大規模災害時(DVI:Disaster Victim Identification,災害被害者身元確認作業)の活用」の各共同研究班アンケート調査の報告をする。

We set up the JSAiT research group in 2019.This research group is still young, but it is open to a wide range of Autopsy imaging -related personnel, including students as well as Radiological technologist.

There are 13 collaborative research teams in this study group.

Five of these teams surveyed their members with a questionnaire. The survey was conducted from October 18, 2021 to November 15, 2021, and Twenty-four facilities responded to the survey, and the results obtained are reported here.

はじめに

江端清和(日本診療放射線技師会
Ai分科会担当理事)

日本オートプシー・イメージング(Ai)技術研究会(The Japanese Society of Autopsy imaging and Technology以下:JSAiT)は日本全国から熱意のある23人の発起人とともに2019年5月1日に立ち上がったまだ若い研究会である。本研究会は診療放射線技師をはじめ、関連する医療職種やAi撮像技術開発に従事する研究者等により構成され、学生等の参加も可

能とするものであり、会員相互の学术交流と研鑽を目指している。さらに国際的な学術団体と連携を図ることで「IAFR(International Association of Forensic radiographer) in Japan」として国際的な活動を通じて社会貢献に努める」ことを設立趣意書にも明記している。また、研究会設立時に13の研究テーマを持った研究班を立ち上げた。

今回、その中から「小児X線CT撮影条件の適正化」、「X線CT撮影時のアーチファクト対策」、「Dual(Multi) Energy CTの活用」、「腐敗症例に対するCT、MRI撮像法の適正化」、「大規模災害時(DVI:

Disaster Victim Identification、災害被害者身元確認作業)の活用」の各研究班より現状の確認と問題点の洗い出しをしたいとの申し出を受け、令和3年10月18日(月)~11月15日(月)までの期間で会員を対象としてアンケート調査を実施した。回答内容によって設問数は異なるが、5班共同でもあることから全てに回答すると101設問となり、ご回答いただいた各位にはかなりのご負担であったことと思う。総回答者は24件と想定を下回ったが、日本全国の様々な規模の施設より回答をいただけた。ご協力頂いた回答者各位にはこの場を借りて深く御礼申し上げる。